

木材ジャーナル 名古屋・せぶ

令和7年10月号 No.221

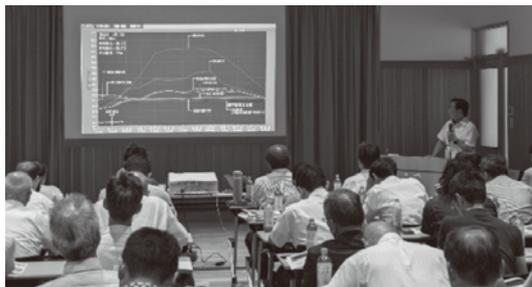
名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

大盛況だった「愛知県産木材利用研修会」 ～地域材利用の可能性とこれからの製材を考える～

(一社)愛知県木材組合連合会(西垣洋一会長)は、2025年度「大径材需要拡大促進事業(愛知県委託事業)」として、製材工場始め木材関係事業者、建築士の方々等を対象に連続2回の研修会を開催しました。

これは、戦後に植栽され利用期を迎えたスギ・ヒノキの人工林が高齢級化する中、来るべき大径材時代に向けて需要と供給の面から地域材の活用を進めるために開催したものです。各回40名程度で募集をかけたところ、第1回に61名、第2回は92名の参加があり、幅広い層での関心の高さが伺えました。

第1回は、8月4日(月)に(株)東海木材相互市場大口市場の本社棟会議室において、(株)加藤設計 代表取締役社長の加藤昌之氏を講師に迎え「非住宅における地域材の活用について」と題した講義を行いました。会場となった本社棟と隣接する間屋棟は、加藤氏が設計のZEB建築で、拡張樹脂アンカー工法による大スパン架構を実現し、CLTやJAS構造材をふんだんに使用しており、講義後には施設の見学会も行いました。



第2回は、8月22日(金)に三河材流通加工事業協同組合(HOLZ三河)の円形会議室において、二宮木材(株)専務取締役の二ノ宮泰爾氏に講師を依頼し「縮小する市場で求められる製材所になるために」と題して講義を行いました。氏からは①JAS(機械等級)材の出荷②同業者同士の連携③大径材の活用、これら3つの取組みが重要であるとの話があり、研修後のアンケートでは、JAS材の必要性を感じたとの意見が多くを占めました。



また、アンケートの中で「今後受講したい研修」もお聞きしておりますので、ご意見を参考にし、引き続き各種研修を企画して参ります。

なおこの先、本研修の一環で木材の需要先の一つである輸出にスポットを当てた研修を11月27日(木)に予定しております。一般的にはまだまだ取組みの少ない木材の輸出ですが、先々の事業展開のきっかけにいただければと考えております。

“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを

みちしるべ

4階建て以上の木造建築が当たり前時代に!! ～ 都市の景観に木造高層建築物を!～

名古屋木材組合

組合長 西 垣 洋 一

木造での4階建て普及促進を目指して!!

木造建築といえば1、2階建て、3階建ての戸建住宅が一般的で、4階建て以上の木造建築は技術的な限界から実現が難しいとされてきました。しかし、近年の技術革新により、CLT（交差積層木材）やLVL（単板積層材）などの新しい木材加工技術が登場し、木造建築の常識は大きく変わり、これにより、4階建て以上の木造建築が現実のものとなり、もはや特殊な事例ではなく、都市部での住宅供給や商業、公共施設における木造化・木質化が新たなスタンダードとなる可能性を秘めています。近年の環境配慮への社会的関心の高まりも相まって、2030年温室効果ガス46%削減や2050年カーボンニュートラルに貢献するため、建築分野では省エネ対策に加え、森林での炭素吸収と建物への炭素固定等の観点から木材利用促進が重要となっています。

さらに、耐火性の向上も木造高層建築が普及する要因の一つであり、令和4年には木材利用の促進につながる防耐火規制等を合理化する「脱炭素社会の実現に資するための建築物のエネルギー消費性能の向上に資する法律等の一部を改正する法律（建築物省エネ法及び建築基準法改正）」など、建築物での木材利用促進のための法改正が行われています。

従来、木材は火に弱いとされてきましたが、最新の防火技術や特殊な防火塗料、耐火等級を高めるための技術開発が進んでおり、木造高層建築物でも一定の防火基準を満たすことが可能となっています。木材は燃える際に表面が炭化し、内部まで燃え広がることを防ぐため、長時間にわたって建物の構造を保つことができ、この特性を活かすことで、木造建築でも十分に安全性を確保できます。

持続可能な木材利用（木造化・木質化）による環境都市の実現

都市部においても、木造化・木質化が増えてきている背景には、ただの建物に留まらず、都市の景観に新しい風を吹き込むものとして注目を集めています。特に4階建ての木造建築物は、温かみのある外観や自然素材の持つ優れたデザイン性を持ち、鉄筋コンクリートや鉄骨造の冷たい印象に対し、温もりや親しみやすさを都市空間に提供し再評価されています。さらに、木材は経年変化によって美しい風合いを持ち、時間と共に味わい深くなるため、長期的に見ても魅力的な建物を作り出すことができます。これらの技術革新と環境意識の高まりにより、4階建て木造建築はもはや珍しいものではなく、都市の新しい風景となりつつあります。木造高層ビルは、都市の景観を一新し、自然素材を使った建築の新たな可能性を広げます。また、木材を活用することで地域の森林資源が持続的に管理され、地域経済の活性化にも寄与することが期待されています。

未来において、木造建築はさらに高層化し、複合機能を持つビルが登場することでしょう。木材・住宅業界、そして各研究機関や政府との連携を強化し、新技術や新しい建築手法の開発、「都市の森林化」に向けた木造化・木質化の更なる推進を図ることが重要です。産官学の協力を得て、木造高層建築に関する研究を進め、実証実験を行うことで、安全性や性能に関する確証を得ることができ、木造建築物の普及が加速することを期待されています。まさに我々木材・住宅業界は、4階建て以上の木造建築が当たり前の時代になる未来へと新たな可能性を切り開いているのです。

◆ 合縁木縁 ◆

「大阪・関西万博」

6月28日29日、家族5人（私、妻、子供3人【小学生2人、幼稚園児1人】）で大阪・関西万博へ行きました。前回の愛知万博の時私は大学生で5回程行った記憶があります。海外に行かなくても外国の人々、文化に触れることのできるチャンスだと思い、万博開幕前に万博チケットを購入して楽しみにしていました。

今回は「並ばない万博」と言うことで、どれだけスムーズに会場に入れるか期待していました。事前に入場日、入場時間、パビリオンも予約をして会場入りの準備は万全にしていざ入場ゲートへ向かいました。

10時入場で予約しましたが入場できたのは10時40分頃、入場の際の検査等も時間がかかりました。入場してからも人が多くて事前予約が1つしかとれなかった私たちは、当日並んで順番待ちをしました。入場待ちのパビリオンばかりで子供たちにはとても辛い思いをさせてしまったと思っています。幸いにもベビーカー優先で入場できるパビリオンもありとてもありがたかったです。

子供たちにとっては各国の文化くらしを知ることができ貴重な体験ができました。子供たちに海外の方が英語で話しかけてくれたり衣装等を貸してくれたりと貴重な体験ができました。中でも各国のパビリオンに入場したらそれぞれの国のスタンプを押すことができ、それが楽しみで数多くのパビリオンをまわりました。何より子供たちが喜んでくれたのでそれがうれしかったです。

今回の万博ではパビリオンも事前予約と言うことで、万博入場2か月前予約から1週間前予約まで第五希望までしっかり抽選応募しましたが、抽選で当たったのは28日1つ、29日1つでした。後は予約なし当日入場可能なパビリオンに並ぶしかなく、子供連れで並ぶのはとても大変でした。

ここからは、子育て世代のつづやきです。もう少しベビーカー優先の通路、子供優先トイレがあるといいと思いました。パビリオンを含め、お土産ショップ、万博内のコンビニ、飲食店等々、ベビーカーで移動するには人も多すぎて入ることもできません。気温が暑くて休憩したい時に室内に入りたい時でも入れません。

万博を通じて学んだこと感じたことは、様々な国、文化があること、世界では今も紛争があり傷ついている人がいることも学べて、子供たちだけでなく私自身も勉強になりました。紛争でいつ私たちの住む日本も巻き込まれるか分かりません。様々なことが学べた大阪・関西万博でした。

次回は、中央木材市売株式会社 北村 直樹氏にお願いします。

木場すずめ

『断捨離のススメ』

日々の暮らしの中で、気づけば増えてしまうモノたち

「いつか使うかも」と取っておいたモノや、「もったいない」としまい込んだ書籍・服・雑貨など…。しかし、それらが部屋のスペースを占領し、心の余裕を奪っているかもしれません。

私は長い間「いつか使うはず」と、なかなかモノを手放せずにいました。でも実際は、押し入れや棚の奥に眠ったまま、存在すら忘れていたモノも多くありました。近所にリサイクルショップがオープンしたことをきっかけに、重い腰をあげ、多くのモノと向き合い「今の自分に必要か」で判断し1年以上使っていないモノはなくても困らないと判断し、使わないけど捨てるににくいモノは一定期間保存し様子を見ることとして断捨離しました。捨てることに抵抗がある私は、片づけたその日にリサイクルショップへ不要なモノを持っていき私にとって不要なモノが誰かの役に立つと自分に言い聞かせ「ありがとう」という気持ちで多くのモノたちと「サヨウナラ」しました。手放した後は、不思議なほど心が軽くなり、頭もクリアにすっきりします。部屋の空いたスペースを見ると気持ちに余裕も生まれます。その後も快感を味わうため、加速して不要なモノ探しが始まります。今ではリサイクルショップの常連です。

「断捨離」とは「断つ・捨てる・離れる」の頭文字をとった言葉で、不要なモノとの関係を見直し、自分にとって本当に必要なものを見極める習慣です。単なる片付けではなく、「自分と向き合う時間」でもあるのです。

モノだけでなく時間や人間関係においても同様で、なんとなく続けていた習慣、義務感だけの集まりなど思い切って見直すと自分の時間やエネルギーを大切なことに注げるようになり日々の充実感が増します。手放すことで、自分にとって本当に必要なモノが見え、今の自分にふさわしい環境を整えることができます。

また、断捨離は防災対策にも繋がります。部屋が片付いていれば避難経路が確保しやすくなり、防災備蓄品を管理するスペースも確保できます。足元のモノが減れば地震時の転倒リスクも軽減できます。モノが減ると、探し物の時間が減り、家事や仕事も効率的になります。

まずは、引き出しひとつ、本棚一段から、小さな一歩が大きなスッキリへと繋がります。モノと自分の関係を見直して、心地よい毎日を手に入れてみませんか？



木の日の事業 名古屋木材青壮年会

親子木工教室開催



日時：令和7年10月11日(土)、10月12日(日) 10:00~16:00

場所：農業文化園・戸田川緑地
(名古屋市港区春田野二丁目3204)
フラワーセンター前

【実施企画】

- 木工工作(各500円)
 - ① 背付きイス
 - ② スライド本立て
 - ③ ティッシュケース
- 体験イベント(無料)
 - ① 小さな家
 - ② 丸太切り
 - ③ クイズ
 - ④ モルック
 - ⑤ 組手什

ぜひご家族で
ご参加ください!



主催及び問い合わせ先
名古屋木材青壮年会 TEL.(052) 331-9386

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

SNS型ロマンス詐欺に騙されないで!

異性からSNSで好意を伝えられアプローチを受けたら一呼吸! SNS型ロマンス詐欺の被害者の多くは、好意を伝えられた後、投資話を持ち掛けられ、多額のお金をネットバンキング等で送金してしまい騙し取られています! SNS型詐欺の特徴は、被害者の年齢が幅広く、被害額が大きいという点にあります。SNSだけでやりとりした相手のことを簡単に信用してはいけません。この機会に、ぜひ一度、ご家族でも注意喚起をしてください。

蟹江警察署 生活安全課 生活安全係 TEL.0567-95-0110

◆ 広告コーナー

人と未来のために高い技術を誇るプレカットシステムのトップメーカー

MIYAGAWA

宮川工機株式会社

〒441-8019 豊橋市花田町字中ノ坪53

TEL 0532-31-1251 FAX 0532-34-1956

URL <https://www.miyagawakoki.co.jp/>

世界初!

100%リサイクルせっこうボード

チヨダサーキュラーせっこうボード

CHIYODA CIRCULAR BOARD

廃せっこうボードから作られたリサイクル石膏を100%使用し、製造時のカーボンニュートラルを実現しました。

- 廃せっこうボードを100%原料に使用
- 製造時のカーボンニュートラル
- 従来製品と同じ高い耐火性能

共に積み、明日を創る。

CHIVODA VISION ZERO チヨダサー

発行 名古屋木材組合
 発行者 西垣洋一
 〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10
 TEL <052> 331-9386
 FAX <052> 322-3376
 【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合
 発行者 服部伸一
 〒490-1444 海部郡飛鳥村木場1-74
 TEL <0567> 57-2017
 FAX <0567> 57-2018
 【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会